

平成 17 年度事業報告

・事業の概要

1. 研究発表会（定款第 5 条 1 号）

（1） 3 月 16 日、17 日の両日、東京農工大学小金井キャンパスにおいて、第 97 回研究発表会を開催した。

・特別テーマ 「共生社会と OR」

・特別講演（一般公開）

1) 知の産業化・大学の役割 - 東京農工大学を例にして -

宮 田 清 蔵（東京農工大学 学長）

2) 共生社会を目指して

山 本 信 一 郎（内閣府 政策統括官）

・発表件数 1 4 4 件

一般発表 1 4 4 件（うち部会報告 1 件）

・参加者数 4 2 0 名

（2） 9 月 14 日、15 日の両日、神戸学院大学有瀬キャンパスにおいて、第 98 回研究発表会を開催した。

・特別テーマ 「ユビキタス社会と OR」

・特別講演（一般公開）

1) ユビキタス社会における道路交通と OR

長 谷 川 利 治（南山大学 数理情報学部教授）

・発表件数 1 1 9 件

一般発表 1 1 9 件

招待講演 2 件

・参加者数 3 2 9 名

また、16 日には UCC 上島珈琲(株)六甲アイランド工場、神戸酒心館を見学した。

2. シンポジウム（定款第 5 条 1 号）

（1） 3 月 15 日、東京農工大学小金井キャンパスにおいて、第 53 回シンポジウム「都市の OR」を開催した。講演 5 件。参加者は 89 名であった。

（2） 9 月 13 日、神戸学院大学有瀬キャンパスにおいて、第 54 回シンポジウム「マネジメント再考と OR」を開催した。講演 4 件。参加者は 48 名であった。

（3） 10 月 20 日、21 日、シティ弘前ホテルにて、第 17 回 RAMP シンポジウムを開催した。セッションは「リスクマネジメントの最適化」、「離散凸解析の新展開」、「連続最適化」、「数値最適化」、参加者は 117 名であった。

3. 普及活動（定款第 5 条 1 号）

（1） 定例講演会

開催年月	テ - マ	講 師	参加人数	開催地区
17 年 5 月	企業にみる成長戦略と生き残り戦略	山 田 久 文	11 名	九 州
17 年 12 月	技術経営とサプライチェーンマネジメント	大 野 勝 久	25 名	関 西
17 年 12 月	Excel への誘い：最適化からシミュレーションまで	大 野 勝 久	25 名	中 部

(2) ORセミナー

・第1回「最適化の時代 大規模な現実問題の解決によるイノベーション～アルゴリズム もう1つの革命 この10年の進歩～」を12月8日、(株)野村総合研究所丸の内総合センターで開催した。参加者80名。

題 目	講 師
整数計画法 - 最適化アルゴリズムの進化とオペレーションズ・リサーチの現実問題への適用 -	今 野 浩 ( 中 央 大 学 )
計画作成から運営へ：短縮を続ける最適化の処理時間	ロバート・ピクスビ ( I L O G )
鉄道システムにおける最適化アルゴリズムの活用	清 水 宏 之 (株) エイール東日本情報システム
スケジューリング及びロジスティクスネットワークデザイン問題への最適化アルゴリズム適用	松 川 公 司 (三菱化学エンジニアリング(株))
大規模問題に対する最適化アルゴリズムの適用	井 上 和 佳 (新日鉄ソリューションズ(株))

(3) OR企業フォーラム

開 催	テ ー マ と ゲ ス ト ス ピ ー カ ー	参加者
第 1 回 (18.1.23) 学 士 会 館	私の実践経営システム(?)論 - SCM 基幹業務と商品開発業務を通じて - サントリーロジスティクス(株) 取締役会長 橋本忠夫 放送・通信連携の現状と将来 NHK 放送技術研究所 所長 榎並和雅	34 名

(4) 企業事例交流会

- ・第15回企業事例交流会は、第97回研究発表会(東京農工大学)にて3月16日開催。発表件数5件。
- ・第16回企業事例交流会は、第98回研究発表会(神戸学院大学)にて9月14日開催。発表件数5件。

(5) 新宿 OR 研究会

昭和55年創設以来、年間10回の例会を開催している。テーマはOR関係の最近の動向に留まらず会員推薦の各界の話題など極めて広範、かつ時宜に適ったもので、メンバーの啓発、懇親を行っている。会誌に開催案内を掲載し、新宿地区を中心に会員の幅広い参加を呼びかけている。

4. 刊行物(定款第5条2号)

(1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成17年3月1日	50	3	3,500部
平成17年4月1日	50	4	3,500部
平成17年5月2日	50	5	3,500部
平成17年6月1日	50	6	3,500部
平成17年7月1日	50	7	3,500部
平成17年8月1日	50	8	3,500部
平成17年9月1日	50	9	3,500部
平成17年9月30日	50	10	3,500部
平成17年11月1日	50	11	3,500部
平成17年12月1日	50	12	3,500部
平成17年12月22日	51	1	3,400部
平成18年2月1日	51	2	3,400部

(2) 論文誌 (Journal of the Operations Research Society of Japan) 和文論文誌 (Transactions of the Operations Research Society of Japan) を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成 17 年 3 月 14 日	48	1	2,900 部
平成 17 年 6 月 24 日	48	2	2,900 部
平成 17 年 9 月 29 日	48	3	2,900 部
平成 17 年 12 月 15 日	48	4	2,900 部
平成 17 年 12 月 15 日	48		2,800 部

(和文論文誌)

(3) 研究発表会アブストラクト集およびシンポジウム予稿集

春季・秋季研究発表会のアブストラクト集およびシンポジウム予稿集を発行した。

(4) セミナーテキスト

「最適化の時代 大規模な現実問題の解決によるイノベーション～アルゴリズム もう一つの革命 この 10 年間の進歩～」に関するテキストを発行した。

5. 日本学術会議並びに他学協会との連携・協力 (定款第 5 条 3 号)

(1) 日本学術会議関連

平成 17 年 10 月 1 日から日本学術会議は大幅な改革が行われた。主要な点は、これまでの学術研究団体を基礎とした会員推薦制から日本学術会議が会員候補者を推薦すること、従来の 7 部制から 3 部制 (人文科学、生命科学、理学及び工学) へ編成替えすること、研究連絡委員会を廃止し、会員と連携して学術会議の職務の一部を行う連携会員を新設することなどある。

この改革のなかで、「登録学術研究団体」が廃止され、「協力学術研究団体」が新設されたことに伴い、当学会も 10 月 20 日付にて「協力学術研究団体」への申込を行った。

(2) 経営工学関連学会協議会 (FMES) 関連

日本学術会議の研究連絡委員会が廃止されたことから、FMES も代表者会議の設置を柱とする規約改正を行った。即ち、これまで協議会の会長は日本学術会議経営工学研究連絡委員会委員長が務めていたが、この廃止に伴い、協議会に構成学会の代表者による代表者会議を置き、代表者の互選により協議会の会長を選出することとなった。

平成 18 年 3 月 16 日に開催された代表者会議に当学会は代表者に高橋幸雄副会長、副代表に水野眞治渉外担当理事を派遣した。この代表者会議で、2006 年 4 月から高橋幸雄氏が FMES の会長 (任期 2 年) へ選出、幹事は水野眞治氏が務めることとなった (3 月 17 日理事会承認)。

平成 17 年度の FMES の活動は以下の通り、日本学術会議と連携してのシンポジウム開催および JABEE 認定審査であった。

シンポジウム委員会

平成 17 年度のシンポジウムは平成 17 年 6 月 3 日「世界の MOT、日本の MOT」をテーマに、日本学術会議講堂において開催された。今年度の当番幹事学会は研究技術計画学会であった。

FMES / JABEE 委員会

当学会からは運営委員に水野眞治氏 (渉外担当) 田村明久氏 (研究普及) が派遣されている。また、審査委員会にも OR 学会関係の有資格者を派遣し、経営工学分野の JABEE 認定審査に協力している。なお、FMES の事務局は平成 17 年 7 月から (社) 日本品質管理学会が務めている。

(3) 日本技術者教育認定機構 (JABEE)

当学会は 2001 年 2 月に正会員として加入 (会費 1 口 10 万円) するとともに上記 FMES グループとして加入、その幹事会費分 (日本経営工学会、日本品質管理学会と当学会の 3 学会が各 10 万円) を負

担している。

既述の通り、大学教育プログラムの認定作業を実施している。経営工学分野では本年度、1大学で実施された。

(4)(社)日本工学会関連

工学系94学協会の連合体である(社)日本工学会の諸活動に協力し、また同会事務研究委員会に委員1名(事務局長)が参加している。

(5)横断型基幹科学研究団体連合(略称:横幹連合)

この連合は「社会発展の基礎となる新しい価値体系である横断型基幹科学技術の重要性を提唱し、その創造と進歩に資する活動を行うこと」を目的に計測自動制御学会、FMESメンバーなど30学会が参加して、平成15年4月に設立総会を開催し、正式発足した。当学会からは代議員として水野眞治氏(東京工業大学)、理事として岡本吉晴氏(法政大学)、鈴木久敏氏(筑波大学)、出版委員として杉野隆氏(国士舘大学)が派遣されている。

6. 他学協会との交流(定款第5条3号)

他学協会の下記講演会等に協賛、後援した。

- ・Eco Design 2005(エコデザイン学会連合)
- ・2005年度春季全国研究発表大会(経営情報学会)
- ・第48回自動制御連合講演会/第1回横幹連合コンファレンス(計測自動制御学会、他)
- ・第1回「安全・安心の科学」シンポジウム(計測自動制御学会)
- ・計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会2005(計測自動制御学会)
- ・計測自動制御学会関西支部「平成17年度講習会」(計測自動制御学会)
- ・第55回システム制御情報講習会(システム制御情報学会)
- ・計算科学シンポジウム(情報処理学会)
- ・スケジューリング・シンポジウム2005(スケジューリング学会)
- ・経営情報部会講演会(石油学会)
- ・第35回信頼性・保全性シンポジウム(日本科学技術連名)
- ・空間情報社会シンポジウム(日本学術会議)
- ・第7回日本感性工学会大会・総会(日本感性工学会)
- ・第24回日本シミュレーション学会大会(日本シミュレーション学会)
- ・日本信頼性学会フォーラム(日本信頼性学会)
- ・第13回春季信頼性シンポジウム(日本信頼性学会)
- ・第18回秋季信頼性シンポジウム(日本信頼性学会)
- ・日本信頼性学会フォーラム(日本信頼性学会)
- ・情報セキュリティ学際シンポジウム(日本セキュリティ・マネジメント学会)
- ・第21回ファジィシステムシンポジウム(日本知能情報ファジィ学会)
- ・第18回年次大会(バイオメディカル・ファジィ・システム学会)
- ・非線形解析学と凸解析学に関する第4回国際会議(非線形解析学と凸解析学に関する国際会議組織委員会)

7. 国際協力(定款第5条3号)

(1) IFORS(International Federation of Operational Research Societies)を通じて各国のOR学会との交流、協力を図った。また、IFORS2005(7月11日~15日)がハワイのホノルルで開催され、日本からは157名が参加した。

(2) APORS(Association of Asian-Pacific Operational Research Societies)の事務局長として大山達雄氏(政策研究大学院大学)を選出し、アジア・太平洋地域のORの発展と加盟学会の情報交換に協力し

た。また、APORS2006(1月16日～18日)がフィリピンのマニラで開催され、日本からは12名が参加した。

(3) IAOR (International Abstracts in Operations Research) の編集、発行に協力し、日本の文献抄録を送付するとともに、IAOR の国内頒布に協力した。

(4) APJOR (Asia-Pacific Journal of Operational Research) の編集、発行、頒布に積極的に協力した。

(5) EJOR (European Journal of Operational Research) の編集、頒布に協力した。

8. 受託研究活動(定款第5条4号)

学会の公益活動の一環として、本年度も前年度に引き続き、(財)グローバル・インフラストラクチャー研究財団からの受託研究を「世界のインフラストラクチャー」研究部会を窓口を実施した。

9. 研究部会・研究グループ(定款第5条4号)

研究部会・研究グループ終了/中間報告

印 終了を示す

\*印 研究グループを示す

印 常設部会を示す

部 会 名	主 査 事	メ ン バ -	開 催	内 容	場 所
待ち行列	山下 英 明 (首都大学東京) 藤 本 衡 (東京電機大学)	26名	6回	通信ネットワークに関する講演が引き続き多く行われた。待ち行列にとどまらない確率モデルを用いた様々な解析の報告が更に増加した。また、チュートリアルを通じて初学者への啓蒙が行われた。	東京工業大学
OR/MSとシステム・マネジメント	山 田 善 靖 (東京理科大学) 松 林 伸 生 (東京理科大学)	90名	6回	OR/MSの成果を経営システムのマネジメントに有効に利用する方法の研究を目的とし、高度情報通信環境下におけるOR/MSの活用実態についての知見収集と共に、企業経営に生かすための概念モデル等を検討した。	東京工業大学
数理計画(RAMP)	藤 重 悟 (京都大学) 平 井 広 志 (京都大学)	30名	1回	第17回シンポジウム(セッション:リスクマネジメントの最適化、離散凸解析の新展開、連続最適化、数値最適化)を10月20・21日に弘前市シティ弘前ホテルにて開催した(117名参加)。	シティ弘前ホテル
統合オペレーション	梅 沢 豊 (大東文化大学) 中 野 一 夫 (構造計画研究所)	30名	6回	毎回の研究会を通じて、各種のオペレーションの戦略・マネジメントの問題、すなわち、企業間連携、BPR、SCM、TOC、モジュール化などの問題について、理論的・実証的分析を行った。	大東文化大学

部 会 名	主 査 事	メ ン バ -	開 催	内 容	場 所
評価の OR	刀 根 薫 (政策研究大学院大学) 篠 原 正 明 (日本大学)	29 名	4 回	携帯電話事業の自然独占性分析、SBM 多段階法による日本の銀行の効率性分析、範囲の経済性の理論枠組、サッカー選手の評価、垂直的部門からなる事業者の効率性評価など、DEA に関する理論と応用に関する研究発表が行われた。	政策研究大学院大学
アルゴリズム	岩 田 覚 (東京大学) 武 田 朗 子 (東京工業大学)	30 名	6 回	年間 5 回の定例研究会を開き、毎回 2 名の講演者を招き、問題解決の数理的手法としてのアルゴリズムに関する研究発表を計 10 件行った。この他に筑波で合宿形式の研究会を開き 3 件の招待講演・特別講演と 26 件の一般発表を行った。	東京大学
意思決定と OR	前 田 隆 (金沢大学) 桑 野 裕 昭 (金沢学院大学)	12 名	5 回	主に北陸地区における OR 各分野の専門家が参集し、担当者・開催場所を変えて研究集会を開催した研究発表は大学所属研究者・院生によるものが多くを占め、内容は理論や手法、事例研究であった。	金沢大学
ゲームと実験	武 藤 滋 夫 (東京工業大学) 渡 辺 隆 裕 (首都大学東京)	50 名	10 回	本年度は 10 回の研究会を開催した。国内外からの報告が 13 件あり、今後のゲーム理論及び実験経済学の発展の方向及び応用分野の可能性について、有意義な意見の交換を行うことができた。	東京工業大学
AHP の世界	木 下 栄 蔵 (名城大学) 大 屋 隆 生 (電力中央研究所)	28 名	4 回	AHP の応用事例を中心に、研究会を 4 回開催した。参加者の AHP、ANP に対する理解を深めることができ、企業や行政などの政策立案評価、マネジメントにおける意思決定での適用性を高めることができた	電力中央研究所
21 世紀モノ造りマネジメント	伊 呂 原 隆 (上智大学) 成 松 克 己 (東芝)	15 名	9 回	製造業におけるマネジメントの今後の方向性を探るべく、特徴的な取り組みを紹介する講演の他、先端的なマネジメントを行っている工場の見学も積極的に開催し、議論を深めた	青山学院大学
世界のインフラストラクチャー	栗 田 治 (慶應義塾大学) 三 浦 英 俊 (明海大学)	18 名	11 回	インフラストラクチャー問題に OR の視点から多面的に接近し、数量的評価効果の視覚化、リスク管理、数理地政学的研究の基礎モデル、我が国の天然ガスパイプライン計画といった面で研究を促進した。	日本 GIF 財団

部 会 名	主 査 事	メ ン 伯 -	開 催	内 容	場 所
不確実性理論 の経営科学へ の応用	蔵 野 正 美 (千葉大学) 岩 村 寛 三 (城西大学)	9 名	6 回	不確実性理論の応用として、柔軟でワナな数理モデルの構成と解析方法の研究を行った。Credibility、理論の応用、知覚情報を許容する決定過程モデルと強化学習による適応型決定モデルの構成と解析などに特記すべき成果を得た。	千 葉 大 学
経営・教育と OR	椎 原 正 次 (大阪工業大学) 大 角 盛 広 (神戸学院大学)	11 名	4 回	本年度は4回の研究会を開催したこの中で、MOT教育や社会人教育における現状と将来展望、e-Learningの問題点とその改善方法についての報告があり、活発な質疑応答が行われた。	大 阪 工 業 大 学
サプライチェ ンネットワ ク	高 井 英 造 (フレームワークス) 草 刈 君 子 (SAS Institute Japan)	32 名	10 回	10回の研究会とOR学会・関連学会・国際会議におけるSCM関連セッションを4回実施した。実務家とOR専門家の協働研究によって、ネットワークとしてのサプライチェーン合理への新しい展開を研究し、資料と記録はホームページで公開している。	青 山 学 院 大 学
食糧・環境問 題における数 理的的手法	伊 藤 健 (東北大学) 毛 利 進 太 郎 (神戸学院大学)	19 名	5 回	5回の研究会を開催し、食料・環境問題を扱う現場における問題や数理的手法の適用の事例を報告していただき、今後の展開の可能性や更なる問題点について意見交換を行い、今後の問題と可能性について知見を得た。	大 阪 大 学
マーケティング グインテリジ ェンス	中 川 慶 一 郎 (NTT データ) 高 橋 彰 子 (NTT データ)	30 名	8 回	マーケティング・インテリジェンスに関する理論・方法論を議論した。また、データ解析コンペティションを開催し、広く参加者を得てOR諸手法のマーケティング問題への適用、解決法について議論した。	専 修 大 学

## 10. 表彰(定款第5条5号)

### (1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞

第34回文献賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- ・ A 4/3-approximation for the minimum 2-local-vertex-connectivity augmentation in a connected graph  
Journal of Algorithms 56
- ・ Graph algorithms for network connectivity problems  
Journal of the Operations Research Society of Japan Vol.47, No.4  
永 持 仁 (京都大学)

( 2 ) 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞奨励賞

第 1 回文献賞奨励賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- ・ On the Counting Process for a Class of Markovian Arrival Processes with an Application to a Queueing System  
Queueing Systems 49  
河 西 憲 一 (群馬大学)
- ・ Fast Scaling Algorithms for M-convex Function Minimization with Application to the Resource Allocation Problem  
Discrete Applied Mathematics 134  
塩 浦 昭 義 (東北大学)
- ・ Solving Large Scale Optimization Problems via Grid and Cluster Computing  
Journal of the Operations Research Society of Japan Vol.47, No.4  
藤 澤 克 樹 (東京電機大学)
- ・ On the identification of degenerate indices in the nonlinear complementarity problem with the proximal algorithm  
Mathematical Programming Vol.99, No.2  
山 下 信 雄 (京都大学)

( 3 ) 日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞

第 31 回普及賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

若 山 邦 紘 (法政大学)

( 4 ) 日本オペレーションズ・リサーチ学会実施賞

第 30 回実施賞の選考を行い、下記のとおり決定した。

財団法人 鉄道技術総合研究所

( 5 ) 日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究賞

第 26 回事例研究賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- ・ 百貨店における隠れた親近性の発掘  
オペレーションズ・リサーチ Vol.50, No.2  
オ ウ 口 (東京海上日動火災保険株)、吉 原 亜 弥、矢 島 安 敏 (東京工業大学)
- ・ 電力消費のモニタリング・データを用いた省エネ・アドバイス方法の提案  
オペレーションズ・リサーチ Vol.50, No.2  
井 階 美 歩、高 橋 彰 子、中 川 慶 一 郎、矢 野 順 子、山 中 啓 之 (株)NTT データ)  
生 田 目 崇 (専修大学)
- ・ 通勤電車の遅延計算モデル  
オペレーションズ・リサーチ Vol.50, No.6  
鳥 海 重 喜 (中央大学)、中 村 幸 史 (パイオニア株)、田 口 東 (中央大学)

( 6 ) 日本オペレーションズ・リサーチ学会業績賞

第 7 回業績賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

森 戸 晋 (早稲田大学)

(7) 日本オペレーションズ・リサーチ学会学生論文賞

第23回学生論文賞の選考を行い、以下のとおり決定し、授賞を行った。

- ・ Combinatorial Matrix Analysis by Sign Patterns  
垣村 尚徳 (東京大学・修士論文)
- ・ 矩形パッキング問題に対する厳密解法  
剣持 光俊 (京都大学・卒業論文)
- ・ グラフの向き付けに関する最適化問題の解法  
小林 佑輔 (東京大学・卒業論文)
- ・ Minimum Cost Source Location Problems with Flow Requirements  
坂下 麻里子 (大阪大学・修士論文)
- ・ 劣モジュラ多面体上の最適化アルゴリズムの研究  
永野 清仁 (東京大学・修士論文)
- ・ The Relation between Option Pricing and Optimization Problems  
西原 理 (京都大学・修士論文)
- ・ 移動距離に着目した夜間小児医療施設配置  
松本 立子 (筑波大学・卒業論文)
- ・ 電子部品装着機における最適化アルゴリズムの研究  
山田 剛史 (東京農工大学・修士論文)

11. 支部活動（定款第5条6項）  
支部ごとに次のとおり活動した。

支 部 活 動 報 告

	北海道	東北	中部	関西	中国四国	九州
運営会議	支部総会 1回 運営委員会 1回	支部総会 1回 運営委員会 1回	支部総会 1回 運営委員会 2回 幹事会 4回	支部総会 1回 運営委員会 3回	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会・幹事会 1回
研究会	研究会 1回	研究会 2回	研究会 1回 支部研究発表会 1回	6研究部会	3研究部会	研究会 1回
講演会	講演会 1回	講演会 1回	定例講演会 1回	講演会 1回	講演会 2回	講演会 2回
講習会						
出版			支部ニュース 5回 アブストラクト集 1回	支部ニュース レター 1回		
その他	シンポジウム 1回		支部シンポジウム 2回 三学会共催講演会 1回 平成18年秋季研究発表会 実行委員会 1回	第54回シンポジウム 平成17年秋季研究発表会 支部ホームページの運営	シンポジウム 2回 支部40周年記念事業準備委員会 1回	

処務の概要

1. 役員に関する事項

理事 非常勤 監事 非常勤  
 定数：12人から18人 (現在：17人) 定数：2人 (現在：2人)  
 任期：2年 任期：2年

平成17年度末現在

理事・監事 の役職	氏名	常勤 非常勤 の別	就任年月日	担当職務	報酬	現職
理事(会長)	今野 浩	非常勤	16.4.26	会務の総理	なし	中央大学教授
"(副会長)	鈴木 道夫	"	"	"	"	(財)電力中央研究所理事
"( " )	片山 隆仁	"	17.4.25	"	"	防衛庁分析企画官
"( " )	高橋 幸雄	"	"	"	"	東京工業大学教授
"(庶務)	齋藤 司郎	"	16.4.26	庶 務	"	防衛庁研究員
"( " )	武藤 滋夫	"	17.4.25	"	"	東京工業大学教授
"(会計)	枇々木 規雄	"	16.4.26	会 計	"	慶應義塾大学助教授
"(研究普及)	藤野 直明	"	"	研究普及	"	(株)野村総合研究所室長
"( " )	田村 明久	"	17.4.25	"	"	慶應義塾大学教授
"(編集)	加藤 直樹	"	16.4.26	論文誌編集	"	京都大学教授
"( " )	中森 眞理雄	"	17.4.25	機関誌編集	"	東京農工大学教授
"(国際)	牧本 直樹	"	"	国 際	"	筑波大学助教授
"(涉外)	水野 眞治	"	16.4.26	涉 外	"	東京工業大学教授
"(広報)	矢島 安敏	"	"	広 報	"	東京工業大学助教授
"(支部)	石井 博昭	"	17.4.25	支 部	"	大阪大学教授
"(無任所)	能勢 豊一	"	16.4.26	無 任 所	"	大阪工業大学教授
"( " )	大 鑄 史 男	"	17.4.25	"	"	名古屋工業大学教授
監 事	高井 英造	"	16.4.26	定款19条	"	(株)フレームワークス 取締役
"	山田 善靖	"	17.4.25	"	"	東京理科大学教授

## 2. 職員に関する事項

平成 17 年度末現在

職名	常勤・非常勤	氏名	採用年月日	担当事務	備考
事務局長	常勤	藤木 秀夫	1997. 8. 18	総括・渉外・会計	
職員	"	嶋原 真澄	1990. 5. 8	庶務・編集	
"	"	棟安 美恵	1998. 10. 1	会員管理・研究普及	

## 3. 会議に関する事項

### (1) 臨時総会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
17. 3. 16	1. 定款並びに定款細則改定の件 2. 平成 17 年度事業計画の件 3. 平成 17 年度収支予算の件 4. 名誉会員推薦の件	承認 " " "

### (2) 通常総会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
17. 4. 25	1. 平成 16 年度事業報告の件 2. 平成 16 年度収支計算報告および監査報告の件 3. 平成 17 年度 18 年度役員選任の件	承認 " "

### (3) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
17. 5. 20	1. 平成 16 年度第 7 回理事会議事録の件 2. 平成 17 年度通常総会議事録の件 3. 平成 17 年度理事会スケジュールの件 4. 入退会承認の件 5. 平成 17 年度委員会委員・幹事委嘱の件 6. 会長候補者選考委員会委員選挙の件 7. メーリングリストサービス機関変更案の件 8. 第 54 回シンポジウム予算案の件 9. 平成 17 年春季研究発表会決算案の件 10. 平成 17 年秋季研究発表会予算案の件 11. 対外委員活動の件 12. 文部科学省改善報告状況提出の件	承認 " 承認 承認 " " " " " " " "
17. 7. 22	1. 平成 17 年度第 1 回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. 第 1・四半期収支報告の件 4. 第 23 回学生論文賞候補の件 5. 平成 18 年度会長候補者選考委員会議事録の件 6. メーリングリスト変更・ウェブサイト賛助会員ページ変更の件 7. 創立 50 周年記念事業案の件 8. 第 17 回 RAMP シンポジウム予算案の件 9. 平成 17 年度第 1 回 OR セミナーの件 10. 研究普及委員追加の件	承認 " " " " " " " " " "



開催年月日	議 事 事 項	結 果
18.1.20	16. 著作抄録利用許諾の件 17. 国立大学図書館協会及び東京工業大学図書館からの著作権取扱に関する調査依頼の件	了 承 了 承
18.3.7	1. 平成 17 年度第 5 回理事会議事録の件 2. 入退会承認の件 3. 会長信任投票の件 4. 平成 18・19 年度代議員候補者選任の件 5. 平成 18・19 年度役員候補者選任の件 6. 学会賞授賞候補推薦の件 7. 新フェロー推薦の件 8. 平成 18 年度支部事業計画（案）及び収支予算（案）の件 9. 平成 18 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の件 10. 第 18 回 RAMP シンポジウムの件 11. 第 56 回シンポジウム予算案の件 12. 平成 18 年度秋季研究発表会予算案の件 13. FMES 代表者会議の件	承 認 " " " " " " " " " " " "
18.4.17	1. 総会議案の件 2. 平成 17 年度第 6 回理事会議事録の件 3. 春季支部長会議議事録の件 4. 平成 18 年度臨時総会議事録の件 5. 入退会承認の件 6. 第 55 回シンポジウム収支決算の件 7. 平成 18 年春季研究発表会収支決算の件 8. 平成 18 年度第 1 回 OR セミナー開催の件 9. 第 22 回 FMES・研連シンポジウムの件 10. 第 2 回 FMES 代表者会議議事録の件 11. 電気通信普及財団援助申込書の件 12. 電子アーカイブ対象候補誌基礎調査の件 13. 横幹連合定款改定案の件 14. 対外委員活動の件 15. 定年後再雇用者の基準に関わる協定書の件 16. 支部決算報告の件	承 認 " " " " " " " " 了 承 " 承 承 認 了 承 " " " "

#### (4) 支部長会議

支部長会議は3月（東京）と9月（兵庫）の2回開催し、OR学会の諸問題について意見を交換し、本部と支部の意見調整を図った。

#### (5) 委員会・幹事会

##### ・常設委員会

委 員 会 名	議 事 事 項	回 数
研究普及委員会	研究発表会等の企画・開催、他	7回
機関誌編集委員会	企画の進捗状況確認並びに新企画の提案、他	6回
論文誌編集委員会	投稿論文査読状況の確認、他	2回
表彰委員会	学会賞の選考・表彰規定の改定、他	4回
広報委員会	学会 Web の充実、広報課題の検討、他	6回
OR 事典編集委員会	OR 事典改訂方針・編集体制、他	2回

・その他の委員会・幹事会

委員会名	議事事項	回数
庶務幹事会	理事会の議事についての予備審議、他	6回
会長候補者選考委員会	会長候補者の選考	1回
会長・副会長会議	会務の総理、他	1回
フェロー会議	新フェローの選考	1回
研究部会主査会議	研究部会終了・経過報告	1回

4．許可・認可・承認・証明に関する事項

該当なし

5．契約に関する事項

該当なし

6．寄付金に関する事項

該当なし

7．主務官庁からの連絡事項等

連絡年月日	連絡事項	履行状況
平成 17 年 4 月 6 日	国家公務員出身者を役員に就任させようとする際の報告について（通知）	
平成 17 年 4 月 15 日	公益法人の業務等の適正な運営について（通知）	
平成 17 年 9 月 1 日	平成 18 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の公募について（通知）	
平成 17 年 9 月 28 日	「平成 17 年度公益法人概況調査」等の実施について（依頼）	平成 17 年 10 月 6 日回答
平成 18 年 2 月 14 日	平成 18 年度（第 47 回）科学技術週間について（依頼）	

## 8 . 会 員 状 況

### ( 1 ) 入 退 会 内 訳

		名 誉 会 員	正 会 員	学 生 会 員	賛 助 会 員		合 計	
					A 種	B 種		
平成17年2月末日		12	2,205	267	64(78)	22(22)	2,570(100)	
平 成 17 年 度	入 会		49	67	6(6)	5(5)	127(11)	
	移 動	学 正		52	52			
		正 学		1	1			
		正 名	1	1				
	退 会	1	110	26	5( 8)	2( 2)	144( 10)	
	除 名		38	32			70	
	復 活		1	1			2	
純 増 減			48	41	1 ( 2)	3(3)	85 ( 1)	
平成18年2月末日		12	2,157	226	65(76)	25(25)	2,485(101)	

( ) は口数

### ( 2 ) 地 域 別 内 訳

	名 誉 会 員	正 会 員	学 生 会 員	賛 助 会 員	
				A 種	B 種
本 部	9	1,255	160	48(58)	23(23)
北 海 道		70	7	2( 2)	
東 北		84		1( 2)	
中 部	1	203	16	4( 4)	
関 西	2	310	33	7( 7)	1( 1)
中国・四国		126	4	2( 2)	
九 州		109	6	1( 1)	1( 1)
合 計	12	2,157	226	65(76)	25(25)

( ) は口数

## 平成17年度収支計算書

## 収支計算総括表

平成17年3月1日から平成18年2月28日

(単位：円)

1 収入の部	
科 目	一 般 会 計
基本財産運用収入	1,500
入会金収入	114,300
会費収入	41,304,560
事業収入	15,546,794
その他収入	7,579,145
当期収入合計	64,546,299
前期繰越収支差額	7,335,244
収入合計	71,881,543
2 支出の部	
科 目	一 般 会 計
事業費	40,558,654
管理費	22,104,980
その他支出	1,882,665
当期支出合計	64,546,299
次期繰越収支差額	7,335,244
(当期収支差額)	(0)
支出合計	71,881,543

## 収 支 計 算 書

平成17年3月1日から平成18年2月28日

1. 一般会計

(単位：円)

1) 収入の部			予 算 額 A	決 算 額 B	差 異 B - A	備 考
勘 定 科 目	大 科 目	中 科 目				
基本財産運用収入						
		基本財産利息収入	10,000	1,500	8,500	
入会金収入						
		正会員入会金収入	120,000	73,500	46,500	
		学生会員入会金収入	60,000	40,800	19,200	
会費収入						
		正会員会費収入	31,246,400	30,884,830	361,570	
		学生会員会費収入	1,335,000	1,428,730	93,730	
		賛助会員会費収入	8,609,000	8,991,000	382,000	
事業収入						
		会誌頒布収入	5,400,000	4,962,584	437,416	
		研究発表会収入	5,000,000	5,326,710	326,710	
		シンポジウム収入	1,600,000	1,459,000	141,000	
		セミナー収入	1,500,000	1,555,000	55,000	
		資料等頒布収入	300,000	284,000	16,000	
		I A O R 収入	340,000	340,000	0	
		E J O R 収入	480,000	480,000	0	
		A P J O R 収入	144,000	139,500	4,500	
		受託研究収入	1,000,000	1,000,000	0	
その他収入						
		論文投稿掲載料収入	1,125,000	1,526,000	401,000	
		広告収入	4,500,000	4,494,000	6,000	
		受取利息	20,000	23,198	3,198	
		名簿収入	20,000	15,000	5,000	
		O R 事典収入	0	28,000	28,000	
		事務委託収入	270,000	300,000	30,000	

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目	A	B	B - A	
	退職給与引当金		0	0	0	
	取崩収入					
	記念事業引当金		0	0	0	
	取崩収入					
	表彰事業引当金		1,000,000	1,000,000	0	
	取崩収入					
	国際協力引当金		0	0	0	
	取崩収入					
	O A 化引当金取崩収入		0	0	0	
	別途引当金取崩収入		5,503,904	0	5,503,904	
	国際会議引当金		0	0	0	
	繰入収入					
	雑 収 入		400,000	192,947	207,053	
当 期 収 入 合 計			69,983,304	64,546,299	5,437,005	
前期繰越収支差額			5,153,220	7,335,244	2,182,024	
収 入 合 計			75,136,524	71,881,543	3,254,981	
2 ) 支出の部						
勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目	A	B	B - A	
事業費	研究発表会					
		開 催 費	3,620,000	2,780,650	839,350	
		印 刷 費	1,380,000	948,920	431,080	
	印刷製本費					
		機 関 誌	9,500,000	8,990,015	509,985	
		論 文 誌	2,500,000	1,666,707	833,293	
		印 刷 費	150,000	103,110	46,890	
	国際協力費					
		IFORS 会 費	330,000	332,922	2,922	
		IAOR 購 入 費	350,000	317,119	32,881	
		EJOR 購 入 費	470,000	539,455	69,455	
		APJOR 購 入 費	150,000	148,064	1,936	
		APORS 関 係 費	100,000	0	100,000	
	研究活動費					
		シンポジウム開催費	1,600,000	1,451,749	148,251	
		セミナー開催費	1,050,000	560,925	489,075	

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目	A	B	B - A	
		OR企業 フォーラム	900,000	289,926	610,074	
		研究部会費	720,000	720,000	0	
		支部費	1,642,920	1,642,920	0	
	表彰事業費		1,460,000	1,619,217	159,217	
	会議費		200,000	176,430	23,570	
	旅費交通費		500,000	321,100	178,900	
	通信運搬費		5,500,000	5,282,904	217,096	
	諸謝金		1,600,000	1,441,669	158,331	
	給料手当		8,750,000	8,351,133	398,867	
	臨時雇賃金		1,500,000	1,152,000	348,000	
	消耗品費		400,000	261,941	138,059	
	受託研究支出金		1,000,000	1,000,000	0	
	FMES・研連関係 費		500,000	459,778	40,222	
	雑費		20,000	0	20,000	
管 理 費	家賃		3,750,384	3,750,384	0	
	共益費		1,630,000	1,625,400	4,600	
	事務用品費		100,000	682	99,318	
	会議費		500,000	288,801	211,199	
	旅費交通費		2,000,000	1,417,770	582,230	
	通信費		1,300,000	858,570	441,430	
	印刷費		600,000	566,055	33,945	
	消耗品費		100,000	98,193	1,807	
	OA化準備費		200,000	0	200,000	
	リース料		600,000	441,504	158,496	
	修繕費		50,000	0	50,000	
	給料手当		8,750,000	8,351,133	398,867	
	福利厚生費		2,500,000	2,354,467	145,533	
	退職金		0	0	0	
	保険料		10,000	9,600	400	
	負担金		50,000	3,500	46,500	
	支払手数料		270,000	261,965	8,035	
	租税公課		80,000	570,000	490,000	消費税仮払と合算
	雑費		100,000	11,586	88,414	
	損金		800,000	732,170	67,830	

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目	A	B	B - A	
その他支出	退職給与引当金繰入		200,000	763,200	563,200	
	表彰事業引当金繰入		0	1,000,000	1,000,000	
	OA化引当金繰入		0	880,000	880,000	
	別途引当金繰入		0	2,665	2,665	
	消費税仮払金		500,000	0	500,000	租税公課に合算
当 期 支 出 合 計			69,983,304	64,546,299	5,437,005	
次期繰越収支差額			5,153,220	7,335,244	0	
( 当 期 収 支 差 額 )			0	0	0	
支 出 合 計			75,136,524	71,881,543	3,254,981	

# 正味財産増減計算書

平成17年3月1日から平成18年2月28日

(単位：円)

科 目	金	額
一般正味財産の部		
1. 経常損益		
(1) 経常収益		
基本財産運用益		1,500
受取会費ほか		56,965,654
入会金収入	114,300	
会費収入	41,304,560	
事業収入	15,546,794	
その他収入		6,579,145
経常収益計		63,546,299
(2) 経常費用		
事業費	40,558,654	
管理費	22,104,980	
経常費用計		62,663,634
経常収益の増減		882,665
2. 経常外損益		
(1) 経常外収益		1,000,000
表彰事業引当金取崩収入	1,000,000	
(2) 経常外費用		1,882,665
表彰事業引当金繰入	1,000,000	
OA化引当金繰入	880,000	
別途引当金繰入	2,665	
経常外収益の増減		882,665
一般正味財産の増減		0
指定正味財産の増減		0
期末正味財産の増減		0
前期繰越正味財産		12,335,244
期末繰越正味財産		12,335,244

## 貸借対照表総括表

平成18年2月28日

(単位：円)

1 資産の部	
科 目	一 般 会 計
流 動 資 産 合 計	31,133,700
固 定 資 産 合 計	86,509,821
資 産 合 計	117,643,521
2 負債の部	
科 目	一 般 会 計
流 動 負 債 合 計	27,841,907
固 定 負 債 合 計	77,466,370
負 債 合 計	105,308,277
3 正味財産の部	
科 目	一 般 会 計
基 本 金	5,000,000
剰 余 金	7,335,244
正 味 財 産 合 計	12,335,244
負債及正味財産合計	117,643,521

## 貸借対照表

平成18年2月28日

1. 一般会計

(1) 資産の部

(単位：円)

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動資産	現金預金	29,268,591	
	未収金	1,857,109	
	前払金	8,000	
	流動資産合計		31,133,700
固定資産 基本財産 その他固定資産	基本財産	5,000,000	
	敷金	1,596,000	
	諸引当預金	79,913,821	
固定資産合計			86,509,821
資産合計			117,643,521

(2) 負債の部

勘定科目		金額	
大科目	中科目		
流動負債	預り金	382,658	
	前受金	26,953,649	
	仮受金	5,600	
	未払金	500,000	
流動負債合計			27,841,907
固定負債	退職給与引当金	7,693,200	
	敷金引当金	3,621,640	
	名簿引当金	800,000	
	国際協力引当金	6,000,000	
	記念事業引当金	11,143,931	
	表彰事業引当金	4,900,000	
	OA化引当金	8,380,000	
	国際会議引当金	1,119,890	
	50周年記念事業引当金	15,000,000	
	OR事典等引当金	1,800,000	
別途引当金	17,007,709		
固定負債合計			77,466,370
負債合計			105,308,277

( 3 ) 正味財産の部

勘 定 科 目		金 額	
大 科 目	中 科 目		
基 本 金 剰 余 金	基 本 金	5,000,000	
	次 期 繰 越 収 支 差 額 (うち当期増減額)	7,335,244 ( 0 )	
剰 余 金 合 計			7,335,244
正 味 財 産 合 計			12,335,244
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計			117,643,521

# 財 産 目 録

平成18年2月28日

1. 一般会計

(単位：円)

	金	額
(資産の部)		
. 流動資産		
1. 現金預金		
(1) 現金		
現金手許有高	353,168	
(2) 振替貯金		
東京振替貯金局	2,842,831	
根津振替貯金	45,730	
振替貯金2	795,690	
(3) 当座預金		
みずほ銀行根津支店	25,586	
(4) 普通預金		
みずほ銀行根津支店	14,351,866	
三井住友銀行白山支店	2,591,023	
三菱東京UFJ銀行千駄木支店	8,262,697	
2. 未収金		
平成17年度会費他	1,857,109	
3. 前払金		
研究発表会開催費他	8,000	
		31,133,700
. その他の固定資産		
(1) 基本金		
みずほ銀行根津支店	5,000,000	
(2) 敷金	1,596,000	
(3) 定期預金		
みずほ銀行根津支店	29,643,931	
三井住友銀行白山支店	8,150,000	
三菱東京UFJ銀行千駄木支店	42,119,890	
		86,509,821
資産合計		117,643,521

	金	額
(負債の部)		
・流動負債		
1.預り金		
職員に対する源泉所得税他	382,658	
2.仮受金		
学生会員会費	5,600	
3.前受金		
平成18年度会費他	26,953,649	
4.未払金		
平成17年度消費税未払分	500,000	
		27,841,907
・固定負債		
1.退職給与引当金	7,693,200	
2.敷金引当金	3,621,640	
3.名簿作成引当金	800,000	
4.国際協力引当金	6,000,000	
5.記念事業引当金	11,143,931	
6.表彰事業引当金	4,900,000	
7.OA化引当金	8,380,000	
8.50周年事業引当金	15,000,000	
9.国際会議引当金	1,119,890	
10.OR事典等引当金	1,800,000	
11.別途引当金	17,007,709	
負債合計		105,308,277
正味財産		12,335,244

#### 計算書類の注記

##### 1.重要な会計方針

(1)退職給与引当金は、要支給額の全額を計上。

(2)資産の範囲については現金預金、未収金、前払金、仮払金、預り金、仮受金、前受金、未払金、諸引当預金（引当金相当分を除く）を含めている。

##### 2.基本財産の増減はなし

基本財産 期末残高 5,000,000

資産・負債・基本金の残高増減及び次期繰越収支差額の内容は次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高 A	当期末残高 B	増減額 B - A	備 考
流 動 資 産	27,626,669	31,133,700	3,507,031	
現金預金	24,448,309	29,268,591	4,820,282	
未収金	2,158,935	1,857,109	301,826	
前払金	13,225	8,000	5,225	
仮払金	1,006,200	0	1,006,200	
固 定 資 産	88,352,427	86,509,821	1,842,606	
基本財産	5,000,000	5,000,000	0	
敷金	1,596,000	1,596,000	0	
諸引当預金	81,756,427	79,913,821	1,842,606	
資 産 合 計	115,979,096	117,643,521	1,664,425	
流 動 負 債	27,823,347	27,841,907	18,560	
預り金	374,053	382,658	8,605	
前受金	27,443,694	26,953,649	490,045	
仮受金	5,600	5,600	0	
未払金	0	500,000	500,000	
固 定 負 債	75,820,505	77,466,370	1,645,865	
退職給与引当金	6,930,000	7,693,200	763,200	
敷金引当金	3,621,640	3,621,640	0	
名簿作成引当金	800,000	800,000	0	
国際協力引当金	6,000,000	6,000,000	0	
記念事業引当金	11,143,931	11,143,931	0	
表彰事業引当金	4,900,000	4,900,000	0	
OA化引当金	7,500,000	8,380,000	880,000	
別途引当金	17,005,044	17,007,709	2,665	
OR事典等引当金	1,800,000	1,800,000	0	
国際会議引当金	1,119,890	1,119,890	0	
50周年事業引当金	15,000,000	15,000,000	0	
負 債 合 計	103,643,852	105,308,277	1,664,425	
基 本 金	5,000,000	5,000,000	0	
次期繰越収支差額	7,335,244	7,335,244	0	
(当期収支差額)	(2,196,424)	( 0 )		
正 味 財 産 計	12,335,244	12,335,244	0	

## 平成 18 年度 19 年度役員候補者名簿

会務役職	定 数	候 補 者	備 考(非改選役員)
会 長	1(1)	青 木 利 晴	
副 会 長	3(1)	大 山 達 雄	片 山 隆 仁
”			高 橋 幸 雄
庶 務	2(1)	青 沼 君 明	武 藤 滋 夫
国 際	1(0)		牧 本 直 樹
研究普及	2(1)	羽 鳥 彰 一	田 村 明 久
編 集	2(1)	矢 部 博	中 森 眞 理 雄
会 計	1(1)	櫻 尾 博	
涉 外	1(1)	香 田 正 人	
広 報	1(1)	中 川 慶 一 郎	
支 部	1(0)		石 井 博 昭
無 任 所	3(2)	河 合 一	大 鑄 史 男
		吉 野 秀 明	
監 事	2(1)	高 橋 誠	山 田 善 靖

( )内は平成 18 年度改選数

## 第 4 号議案

### 平成 18・19 年度代議員候補者名簿

	氏 名		氏 名		氏 名
1	相澤りえ子	26	今野 浩	51	福島雅夫
2	浅田克暢	27	齋藤司郎	52	藤野直明
3	井垣伸子	28	逆瀬川浩孝	53	増山 繁
4	伊倉義郎	29	佐藤富士夫	54	松井知己
5	伊田嘉昌	30	猿渡康文	55	松尾俊彦
6	岩田 怜	31	三道弘明	56	松本浩樹
7	上田 徹	32	塩出省吾	57	松山久義
8	上野信行	33	神 正照	58	水野眞治
9	大澤義明	34	杉野 隆	59	宮沢政清
10	大西匡光	35	鈴木敦夫	60	森 雅夫
11	大橋 守	36	鈴木道夫	61	矢島安敏
12	小笠原 暁	37	住田 潮	62	安田一彦
13	小澤正典	38	高井英造	63	山上 伸
14	海生直人	39	高橋 理	64	八巻直一
15	片山 勁	40	高森 寛	65	山下英明
16	木嶋恭一	41	時永祥三	66	山下 浩
17	木島正明	42	刀根 薫	67	山田 茂
18	木村俊一	43	中川義之	68	山田孝子
19	久保幹雄	44	中出康一	69	若山邦紘
20	栗田 治	45	中野一夫		
21	腰塚武志	46	行方常幸		
22	小島平夫	47	根本忠明		
23	後藤義雄	48	長谷川利治		
24	古林 隆	49	枇々木規雄		
25	近藤幹雄	50	福川忠昭		